

ヤゴリーダーを募集しています

毎年、としま生態系環境学習リーダー会から「ヤゴ救出リーダー（学習指導者）」の派遣を行っております。今後もリーダー体制の充実を図るため、一緒に活動していただける大人の方を募集しています。お問い合わせは、下記発行元まで！お待ちしております！



1 年間で見るヤゴリーダーの活動



※エコアップとは、プールに植物（ワラなど）を入れてトンボのための産卵場所を作る事です。

ヤゴリーダーの主な活動内容は、ヤゴ救出作戦は勿論ですが、第一は子供たちの安全を見守る事だと思います。子供たちが安全に救出作戦に参加できるように、安全に昆虫と触れ合えるように、安全に身近な自然を学べるようにサポートしていくのが役目です。ですから「虫が大好き！」「虫の事なら何でも知っています！」という知識は不要です。「ちょっと触る位ならできるかも、、、？」程度であればどなたにでも楽しんでご参加いただけると思います。



小島さん



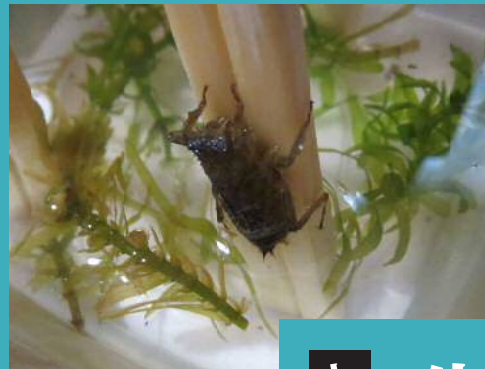
町田さん

私がヤゴリーダーになって良かった事は、2つあります。1つは、ヤゴ救出活動の時、たくさんの子供たちの笑顔を見た事です。ヤゴに触れる体験をし、感動したからだと思います。2つめは、多彩なリーダーの方々を知り合えた事です。豊かな感性で生き物に向き合っている仲間たちとの活動は、とても楽しいです。ヤゴリーダーに興味のある方、一緒に活動しませんか？たくさんワクワクに出会えますよ！

「そう言えば…田んぼへ行ったリトンボを捕まえてリして遊んだなー」とヤゴ救出作戦に参加して、忘れていた子供のころの記憶がよみがえってきました。「子供と大人が一緒になってプールの生き物の命を救い、育てる」もしかしたら「自然の“神秘”や“不思議”」の小さな小さな入り口かもしれない。学校のプールは、緑や水辺の少ない豊島の子供たちが身近な生き物と出会える貴重な場。この活動を一緒に育てて頂ける仲間を募集しています！



村上さん



ヤゴ救出作戦に参加しませんか

学校プールは生き物がいっぱい



ヤゴリーダー・ニュースレター



豊島区は、高層ビル、マンションが建ち並ぶまちとなり、子供たちに自然を感じてもらえる場所がなくなってきています。生き物にとって学校のプールは貴重な水辺です。水泳の授業が終了したオフシーズンは防火用水として水を張ったままにしているため、いろいろな生き物が生息しています。



トンボの幼虫 = ヤゴもそんな生き物のひとつです。水泳の授業が終わると、トンボたちがやってきて卵を産んでいるのです。しかし、そんなヤゴたちはそのままだと、初夏のプール清掃時にすべて死んでしまい、トンボになることができません。

そこで、学校のプールを、水泳の授業以外の時期に「学校ビオトープ」として活用し、ヤゴを救出することで、子供たちが生き物に触れ合うことができる環境学習の場を提供しようという取り組みが「**ヤゴ救出作戦**」です。豊島区では、ヤゴリーダーによって、平成13年度から救出作戦を実施しています。

使用教材



手作り紙芝居



専用テキスト



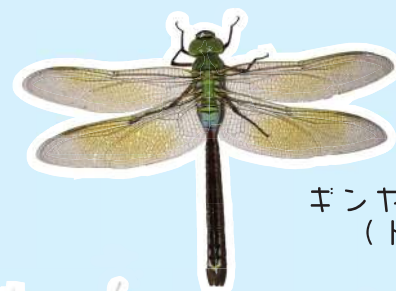
リーダー独自教材

ヤゴリーダーの

学校プールにいる水生生物図鑑



ギンヤンマ (ヤゴ)



ギンヤンマ (トンボ)



オオシオカラ (オス)



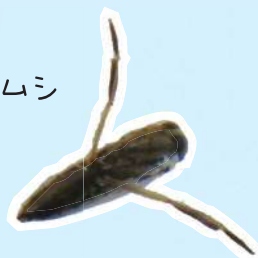
シオカラ (ヤゴ)



アキアカネ (ヤゴ)



イトトンボ (ヤゴ)



コマツモムシ



ハイイロゲンゴロウ



他の区に長年在籍し、3年生の担任をしたときは全て自分たちで授業の企画準備運営をしましたが、豊島区のようにヤゴリーダーがサポートについてくれるのは大変ありがたいです。

専門的な知識が豊富なヤゴリーダーの方々に来ていただき助かりました。児童の質問にテキパキと答えている姿が印象的でした。学校のプールが生き物のすみかになっていることを知らない児童たちでしたが、救出活動や紙芝居のおかげで学校のプールも生き物にとっては大切な環境となっていることを実感することができました。



担任の先生方のお声

次の漢字形んで読む？

プールの生き物クイズ



蜻蛉



竜蝻



水黽 (水馬)



水蠶

クイズの答えは裏表紙へ